

ニッポンハム食の未来財団 2024 年度第一期 団体活動支援助成 完了報告書

企画活動名	第 9 回ふくおか食物アレルギー攻略法講座（講演会） -発症予防・治療の最前線-
フリガナ	シバタ ルミコ
申請者（代表者）氏名	柴田 瑠美子
団体名（正式名称）	団体名：特定非営利活動法人福岡食物アレルギーネットワーク 申請者の役職・肩書など：理事長

1. 活動結果要約

今回の講演会の目的は、食物アレルギー児を持つ保護者(特に新しく食物アレルギーと診断されたお子さんの保護者)や園/小学校関係者に対し、まずは機序等の基礎知識を知ってもらう、入園入学後の集団生活の注意点を知ってもらう、食物アレルギー児の災害時の対応とアレルゲン除去食品のことを知ってもらう、誤食事故を起こさないために/起こしてしまったら、さらに万が一の時のためのエピペン注射剤（アレルギー児が誤食等によりアナフィラキシーを起こした場合に症状の進行を一時的に緩和しショックを防ぐための注射剤）の打ち方/注意点を理解していただくことであったが、概ね理解していただけた。（終了後のアンケートから考察）

また今回はさらに2つ、アトピー性皮膚炎治療の最新情報とその治療方法の講義を専門医師に、アレルゲン食品とアレルゲントタンパク質の特徴について知ってもらう講義を管理栄養士に行ってもらい、興味を持ていただいた。

今講演会も後日動画配信を行い、遠方や体調不良等で参加できなかった方が見ることができると評価をいただいた。これにより当日参加と同等の知識を習得してもらうことができた。

今講演会でも昨年に続き、福岡地区小児科医会様、国立病院機構福岡病院アレルギーセンター様に後援についていただき、広く案内をすることができた。

2. 活動目的

食物アレルギーを持つお子さん、特に初めて食物アレルギーと診断されたお子さんの保護者は、何をどう考えて子育てしたらよいか不安に思っており、誰に相談したらよいかわからない状態である。インターネットで検索すると間違った情報もあり、事故につながることもある。そこで、食物アレルギーの基礎、検査、診断、最新の治療情報までの正しい知識を専門医から学んでいただき、まずは日常生活において安心して子育てができるようにしてもらう

今回は、予防と治療の最新情報をお伝えするとともに、誤食防止にむけた食品のたんぱく質の特徴の紹介で、保護者が積極的に予防・治療に参加したくなるようにする。

また、食物アレルギー児が新しく集団生活を始めるにあたっての注意点、外出時の注意点を保護者、園/学校関係者ともに理解してもらう。

さらに、昨今の災害により、食物アレルギー児の対応に不安を抱えていると考えられるため、災害時の対策をお伝えし備えをしていただく。

エピペン（アレルギー児が誤食等によりアナフィラキシーを起こした場合に症状の進行を一時的に緩和しショックを防ぐための注射剤）について、保護者側は処方時に使い方の説明は受けているが、使う機会がないと忘れてしまう。園/学校関係者も使う機会がないといざという時に一步が出ない。それぞれに使う場面を想定し実機を使用して使い方をマスターしておくことで、万が一の時にスムーズに使用できるようにしておく。

3. 活動方法

【計画通りに実施できたこと】

- ・2024年10月または11月のいずれか1日に180分程度の講演会 ○ → 2024/11/10 実施済み
- ・福岡市内の会場で ○ →福岡市立中央市民センター視聴覚室で実施済み
- ・アレルギー専門医師を講師として ○ →アレルギー専門医の講師4名＋小児アレルギーエデューケーター/管理栄養士1名で実施済み
- ・対象は、福岡及び近郊の食物アレルギーのお子さんをお持ちの保護者（特に新入園新入学のお子さんをお持ちの保護者）および園／学校関係者の合計80名 △ →合計70名参加

- ・講演会を動画撮影し後日配信することで、参加できなかった方々含め広くに視聴いただき啓発する ○ →動画配信済み

- ・講座内容 ○ →以下の通りすべて計画通り実施済み

1、食物アレルギーのトピックス、最新情報	30 分
2、アトピー性皮膚炎治療の最前線	30 分
3、主なアレルゲン食品とアレルゲンたんぱく質の特徴を知ろう	20 分
4、新入園／新入学に備えて	20 分
5、災害時の対応とアレルゲン除去食品の紹介	20 分
6、アナフィラキシーとエピペン自己注射器	20 分

＊この他講演会場にアレルギー対応食/災害時非常食を展示し紹介した

【当初の計画と比較して計画通りに実施できなかったこと】

会場は当初 80 名収容できる場所で実施予定であったが、例年使用していた会場が会場側の都合で使用できなくなった。市内の複数会場に申し込みを行ったが、広い会場は確保することができなかったため、参加希望者は多かったが 70 名収容の会場での開催になってしまった。

【計画から外れて実施したこと】

計画した事項のみ実施したため、外れて実施したことはなし。

4. 結果及び波及効果

- ・講演内容について終了後のアンケートから、保護者からは、「アレルギーの正しい基礎知識が取得できてよかった。新入園や新入学を控えた方々からは、園/学校への申し入れや注意点がわかってよかった。」との評価を得た。
- ・園/学校関係者からは、「正しい知識が取得できた、お子さんを預かる上での集団生活での注意点がわかってよかった。保護者が何に不安を感じているかが分かった」との評価を得た。

- ・エピペンについて、なかなか打つ機会がないので不安であったが、実際に注射器を使うことができたので、体で覚えることができたとの評価。
- ・アレルギー対応商品および災害時の対応商品の展示により、対応商品があることは知っていたが、災害用が豊富にあることを知らなかったかたが多くいたため、知っていただく機会になった。またさっそくストックすると記された方々もおられたので、災害時の対応の啓発につながった。
- ・保湿によるスキンケアや腸内環境をよくすることの大切さに気づいたという意見を多数いただいたことで、積極的な予防の啓発ができた。
- ・動画配信により遠方にお住まいや当日体調不良で参加できなかった方が動画を視聴され、正しい最新の情報が見られてよかったとの評価をいただいた。
- ・Q&A では、保護者からの悩み、園/学校関係者からの悩みを共有できたため、同じ不安や疑問を持った方々に対しその解消ができたこと、およびこれから同じ事象にあった場合に対処できるように情報共有ができた。
- ・アレルギー対応食品を実際に試食できたのはよかったと好評だった。アンケートにはクリスマスケーキやパンなど他にも試食してみたいという意見があったため、次回の検討課題とする。

5. 今後の活動について

【今後必要なこと】

- ・毎年、新たに食物アレルギーと診断されるお子さんは増えており、日常生活や災害時対応、感染症対応に不安や疑問をかかえている保護者も多く、さらにネットの情報氾濫により、不確かな情報を見て間違った対応をする方も多くいるため、専門医による正確な知識の啓発は継続する必要があると考える。
- ・治療方法について、新しく海外で導入されている実績や未承認ながら将来的に導入されそうな方法等の情報も提供することでアレルギー治療も進化していることで期待感をもっていただく。
- ・今回も福岡地区小児科医会様、国立病院機構福岡病院アレルギーセンター様に後援についていただき、今までより信頼感が増し広く案内をすることができたため、今後の講演会等企画でも後援

をお願いします。

【考えられる波及効果】

- ・アレルギーに関する正確な情報が伝われば、エビデンスに基づいたガイドラインに沿った検査～治療に参加することで、早い寛解が望め不安なく子育てをおこなってもらえる。
- ・当ネットワークは専門医師とアレルギー児の子育て経験者で構成されているため、相談等の回答をすることで、不安や疑問を解消し子育ての応援ができる。

【終了後の活動計画】

- ・ホームページおよび福岡アレルギーを考える会（患者会）のインスタグラム等を利用し、いつでも相談を受付けている旨発信することおよび情報を配信すること。
- ・講演会/相談会等情報発信の場の企画を継続して行うこと。

以上